



しぶき 飛沫を浴びて



「わ」をえがく

教頭 下川 拓朗

昨年12月上旬に行った修学旅行でのことです。私は、2年2組の生徒たちと一緒に「日本オリンピックミュージアム」を訪問しました。このミュージアムは、「みんなのオリンピックミュージアム」をコンセプトに、「日本のオリンピック・ムーブメントの発信拠点」として建てられたもので、館内にはオリンピックに関するレガシーが数多く展示されています。展示フロアの一角に、オリンピックの象徴である「オリンピック・シンボル(五輪)」のコーナーがあり、以下の点線内に記載しているメッセージが書かれていました。

「わ」をえがく

輪を描く、和を思い描く
それぞれの「わ」があり、
互いの和がある
そして
ひとりひとりの色になる
ひとつひとつの輪
互いの和
ひとりひとりの色
それが
明日のその次を創りだしていく

何気なく覗いたコーナーでしたが、私にとっては、「わ」について、考えさせられるよい機会になりました。

「わ」と読む漢字は、数多くありますが、代表的なものとして思い浮かぶのは、「和」「輪」「話」があります。いずれの漢字も、望ましい社会生活を送るうえで、大切な考え方や概念を表すものです。

まず、「和」について。調和や平和を連想させ、人々が協働し、共に生きることを示すものであり、共存共栄を目指す姿勢を表しています。

「和(なご)む」「和(やわ)らぐ」など「和」は、

日本人の行動や思考に深く影響を与えている漢字であることは言うまでもありません。また、「輪」は、関係やつながりの広がりの大切さ、最後の「話」は、対話を通じた相互理解を想起させ、学校生活や社会生活に必要なものは何なのかを教えてくださいます。

壱岐高校では、394名の生徒が在籍し、様々な教育活動を通して、生徒たちに健全な成長を促しています。職員55名を加えると449名が一緒に活動しています。一つの立派な社会です。その中で、生徒たちは、一人では身に着けることができない3つの「わ」を心の中に育てています。

まず、「和」、相手を尊重し、仲間や友人を大切にすることを学んでいます。次に「輪」、友人や仲間が困ったときには、互いに手を取り合った「輪」で、お互いを助け合うことの重要性を学んでいます。最後に、「話」です。意見や考えの行き違いもありますから、自分にも人にも正直に、疑問や不満があればお互いにそれを語り合い、理解し合うということを通して「話」の必要性を学んでいます。

それぞれの「わ」をえがきながら、生徒たちはこれからの時代を生きるために必要な資質である「多様性の包摂」を、身につけています。これを基にして、学校生活の中で、良好な人間関係を構築し、精神的な満足感を得ることができれば、生徒たちの壱岐高校での3年間は、自己実現につながる時間へと変換されるはず。壱岐高校職員も、それぞれの「わ」をえがきながら、生徒と共に、本校の目指すべき方向へ力強く歩みを進めたいと思います。今年も、壱岐高校をよろしくお祈りします。



<日本オリンピックミュージアム訪問時の様子>

◆ヒューマンハート部特集

インターアクトクラブ10校合同例会 (令和7年12月13日(土))

福岡市の立花高等学校でインターアクトクラブ10校合同例会が行われ、1年1組小西さん・谷口さん、2年1組原田さん、2年4組岩本さんが参加しました。活動報告会では、コンタクトレンズ容器のリサイクル運動や海岸清掃活動などについての報告を行いました。他校の取り組みや交流会で得た気づきを、今後の活動に活かしていきます。



<発表中の岩本さん(左)、原田さん(右)>

日韓高校生交流海ごみワークショップ IN釜山 (令和8年1月9日(土)、10日(日))

ヒューマンハート部の1年1組山本さん、1年4組豊本さん、2年1組原田さん、2年4組岩本さんが「日韓高校生海ごみワークショップ IN釜山」に参加しました。はじめは緊張していた4人も、活動を通して他校の生徒ともすぐに仲良くなり、自分の考えをどんどん発表していました。



<発表する豊本さん>



<開会式の様子>



<記念撮影をする4人>



<堂々と意見を述べる原田さん>

◆共通テスト出陣式

(令和8年1月15日(木))

共通テストに向けての出陣式がありました。重村校長、近藤弘昭進路指導主事、後藤3学年主任からの熱い激励、後輩たちからの応援がありました。3年生は現在、大学入試の2次試験に向けて勉強に励んでいます。頑張れ、78回生!!



<激励を送る3学年主任後藤先生>



<エールを送る1、2年生>



<団結する78回生生徒・教職員>



◆3年生スキルアップ

3年生の一部の生徒たちは、高校卒業後に役に立つように、魚捌き講座や年金セミナー、ライフプラン講話などの講座を受講しています。また、壱岐保育園の方々にもご協力いただき、保育園児との交流会を行いました。紙面を借りて、ご協力いただいた関係者の方たちにお礼申し上げます。



<完成したキララゲチャンプルを見せる生徒>



<椎茸を切る生徒>



<協働して料理をしている生徒>

◆各部活動報告

【男子バスケットボール部】

令和7年度長崎県高等学校新人体育大会バスケットボール競技 (1/17)

【1回戦】vs大村工業 64-68 負

【女子バスケットボール部】

令和7年度長崎県高等学校新人体育大会バスケットボール競技(1/17)

【1回戦】vs 活水 48-115 負

【剣道部】

全国高等学校選抜剣道大会長崎県予選 (1/17、18)

【1回戦】vs 長崎東 0-4 負

【女子バレーボール部】

令和7年度長崎県高等学校新人体育大会バレーボール競技 (1/24)

【1回戦】vs長崎北陽台 2 (25-14、25-23)0 勝

【2回戦】vs創成館 0 (6-25、9-25)2 負

【男子バレーボール部】

令和7年度長崎県高等学校新体育大会バレーボール競技 (1/24)

【1回戦】vs青雲 2 (25-20、25-15) 0 勝

【2回戦】vs大村工業 0 (7-25、12-25)2 負

【陸上部】

長崎県高等学校新人体育大会 駅伝競技 (1/24)

女子 全体 11位/16チーム 男子 全体 17位/26チーム

◆オンライン文学模擬裁判 (2月1日(日))

2年1組の9名が文学模擬裁判に参加しました。この大会では、夏目漱石の『ころ』をモチーフに構成した独自の教材を用い、原作に描かれる人間関係や心理の葛藤を、現代の刑法における「自殺教唆罪」が成立するか否かという法的視点から考察しました。

普段の学校生活では体験できないような貴重なものになりました。



<議論する生徒たち>

◆今月の玲瓏星

『絶賛部員募集中!』

たくみ
☆1年1組 小西 拓海 さん☆



校長室前の廊下にある水槽にタナゴがいるのをご存じでしょうか。実はそのタナゴのお世話をしている人が拓海さんです。水槽の水替えやエサやり、顧問の先生との情報共有など放課後の時間を使って活動しています。責任感を持って活動する姿はとても立派です。拓海さんは現在、科学部に所属しています。部員は1人です。仲間が欲しいと切に願っています。そんな拓海さんが、今月の玲瓏星です。

『ノートが語る努力家』

れいか
★1年3組 綿石 怜華 さん★



怜華さんは授業のノートや課題レポートなどをつもきれいにまとめています。授業担当の先生が覗くと思わず足を止めてしまうほどです。要点が整理され、色使いも工夫されたノートやレポートは、内容の理解が深まっていることを一目で伝えてくれます。時間がかかっても丁寧にまとめ上げる姿は印象的です。授業にも前向きに取り組み、まとめ上手な怜華さんが今月の玲瓏星です。

◆東京大学出前講義 (2/9(月)、10(火))

東京大学の宇野健司先生が来校し、9日には2年生、10日には1年生を対象に「キャリアに関するワークショップ」を行いました。ワークを通して、自ら積極的に発言をし、発言の際は、「意見、理由、具体例、まとめ」の順で簡潔に、口角と声のトーンをあげることなど、協働に向けたコミュニケーションの取り方を学びました。



<宇野先生の話真剣な眼差しを向ける1年生>



中国語検定試験に受験者9名全員が合格しました。

R7	合格
準4級	6
4級	1
3級	1
2級	1

＜合格者の声＞

〇〇(ゼロ)から覚え直してというところと何回も聞いて、勉強を頑張った。今後、社会に出た時に、中国語を使う機会がくるのを楽しみにしています。
 ○日本語にはない中国語の発音を覚えるところに苦労した。今の級に満足せずにもっと上の級に挑みたい。



HSK(漢語水平考試)にも合格者が出ました!!

R7	合格者数
4級	1
5級	1
6級	1

*中国語の表現による間違い探しをたくさん勉強しました。合格できて、とても嬉しいです。
 <6級のレベル>
 中国語の読み書きができ、流暢に自分の見解を表現することができる (単語数5000語以上)



コース生へインタビューをしてみました!

- ①「コースの魅力」を教えてください。
- ・皆で協力しながら、楽しく生活できます。
 - ・個性豊かな人が集まっていて、色々なことを体験できるところ。
 - ・人数が少なくて、過ごしやすいです。
 - ・巡検で、博物館に行き、土器の考古学の研究や古墳も面白いし、1年生の団結力を高めることもできます。
 - ・壱岐高だからこそ学べることもあり、自分が学びたいことを応援して下さる方がたくさんいらっしゃいます。
 - ・他の高校ではできない中国語や歴史を深く学ぶことができるところです。
 - ・人数が少ない分、皆の仲が深まりやすい。
 - ・ちょっとユニークな人が多いことです。
 - ・全ての教科で、人数が少ない分、詳しく教えてもらえます。

② 壱岐の「好きな場所」を教えてください。

猿岩・はらほげ地蔵・勝本町の海岸・県埋蔵文化財センター・生池城・辰の島・しま親さん家 など。



4月の交流会の様子



観城跡からまぶしい1年生



中国語検定の合格誕生秘話は、一コマの授業の積み重ねからですね。



3年生が中国料理に挑戦!



～はらほげ地蔵～



R7. コース実績

＜長崎県中国語コンテスト＞
(初級の部)

最優秀賞1年 福島拳成
 優秀賞1年 村井文汰
 優良賞1年 松井瑠花
(中級の部)

優良賞2年 畑中朋子
 3年 吉田美咲

＜第24回五星奨中国語コンテスト＞

(一般暗唱2部)

三等賞1年 福島拳成
 松井瑠花
 村井文汰

(特別枠) 挑戦者賞

2年 三嶋恵美

(優秀組織賞)

長崎県立壱岐高等学校

＜第19回 地歴甲子園全国高校生歴史フォーラム＞

(優秀発表賞ならびに優秀賞)

＜R7.鳥居龍蔵記念 全国高校生歴史文化フォーラム＞

優秀賞 受賞

『壱岐中世史解明の新視点 -誰が生池城を改修したか-』
 2年歴史学専攻 宮野幸一



壱岐市長へ
表敬訪問にて報告

